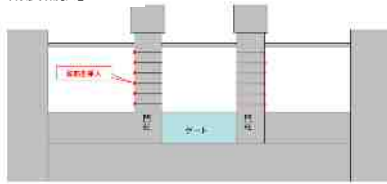


3. 治水対策の概要(河川整備計画における事業事例(耐震対策))

■豊川放水路(分流堰)は設置から40年以上が経過し、地震時における耐力が不足していたことから、耐震補強を実施(平成25年3月完成)しました。



【イメージ図:耐震補強】

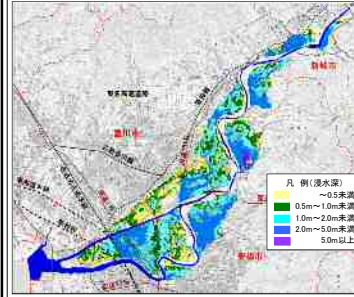


ゲートの通水断面を確保するため、堰柱の断面に変化が生じない工法にて耐震補強を実施

3. 治水対策の概要(河川整備計画事業の実施効果)

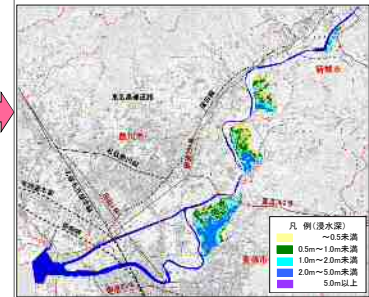
■戦後最大流量となった昭和44年8月洪水が再来した場合に想定される氾濫被害は、浸水面積約3,045ha、浸水人口約23,525人、浸水家屋数約6,675戸です。
 ■河川整備計画で予定している事業を実施することで、浸水面積約730ha、浸水人口約3,025人、浸水家屋数約691戸に氾濫被害を軽減できると想定しています。

河川整備計画で予定している事業を実施する前(河川整備計画策定時点(H13))



河川整備計画 事業実施前の氾濫想定図

河川整備計画で予定している事業(河道改修、設案ダムの建設)を実施した後

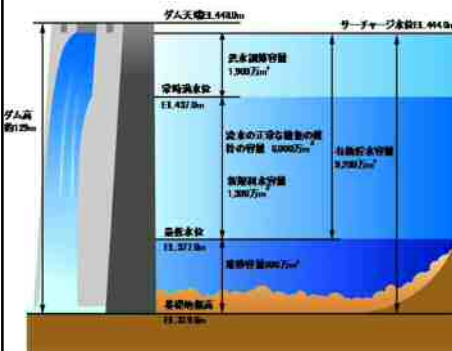


河川整備計画 事業実施後の氾濫想定図

3. 治水対策の概要(河川整備計画における事業事例(設案ダムの建設))

■設案ダムの目的は、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水の確保です。
 ■河川整備計画では、戦後最大洪水(基準地点石田:4,650m³/s)に対して550m³/sの流量低減効果を見込んでいます。

◆貯水池容量配分図



◆ダム・貯水池の諸元

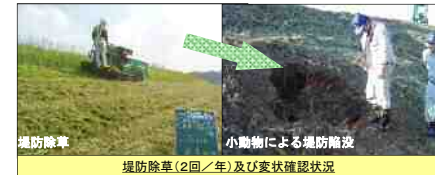
形式	重力式コンクリートダム
堤高	約129m
流域面積	約62km ²
湛水面積	約3km ²
総貯水容量	9,800万m ³

4. 維持管理(河川巡視・点検)

■河川巡視・点検、堤防除草や出水期前点検等により、堤防等の河川管理施設の状況を常に把握し、必要に応じて適切な維持修繕を行なっています。
 ■許可工作物についても、施設管理者と合同で出水期前点検を実施するなど、流水の支障とならないよう適切な指導を行なっています。



河川巡視(6回/週)



堤防除草(2回/年)及び変状確認状況



許可工作物の出水期前点検(1回/年)



補修前(老朽化した堤岸) 補修整備後 老朽化護岸の補修

4. 維持管理(水門操作)

■豊川放水路分流堰の操作を確実に行うために、遠方監視等の施設管理の高度化、効率化を行うとともに、操作人を対象とした操作の講習会を出水期前に定期的の実施しています。

映像表示
 ■放水路管理室上付近 監視映像

2018/11/15 14:50

放水路管理所屋上付近

豊川放水路分流堰操作講習会

近辺のカメラ局

放水路管理室上付近 放水路下流河道 放水路正位付近

ライブカメラによる遠方監視

洪水時の操作状況

4. 維持管理(連携・協働管理)

■平成14年度より、河川愛護・三河湾浄化を目指して「川と海のクリーン大作戦」を地域の住民と一緒に実施しています。

水辺は“いのち”を運んでいます。

川と海のクリーン大作戦

10/27日

ポスター

豊川各地での実施状況

4. 維持管理(地震時の対応)

■設楽町、新城市、豊川市、豊橋市は東海地震の地震防災対策強化地域に指定されていることから、事前に地震時の情報連絡体制、地震後の点検の体制及び点検方法等を定め、迅速な対応により二次災害の防止を図るように努めています。

【平成23年3月11日 東日本大震災時の対応状況】

○陸門、樋門・樋管については閉扉操作を行った。



○河川巡視により各施設(陸門、樋門・樋管等)が適切な操作状況にあるか確認した。

4. 維持管理(河川利用の安全管理)

■河川管理者、自治体、警察、消防、ダム・堰管理者及び河川利用者が構成される豊川水系水難事故防止連絡会(平成17年6月設立)にて、安全な河川敷地利用のための呼びかけを実施しています。

川でのレジャーや水遊びは“増水”にご注意!

川にはあぶない場所があります

リーフレットの配布

水難防止看板

河川の利用状況

リーフレット

5. 洪水等の観測

■河川に関わる計画と管理等のためのデータ取得の他、住民等に情報提供するため、長期間にわたり継続的に水位や雨量等を観測しています。



水位観測



降雨観測



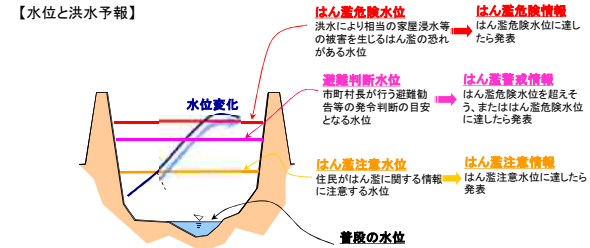
流量観測(低水)



流量観測(高水)

6. ソフト対策(水位情報)

■洪水予報や出水時巡視による異常の把握、放水路のゲート操作、ポンプ車による排水活動等の洪水時の適切な管理により、洪水被害の防止・軽減に努めています。



【出水時巡視】



【豊川放水路ゲート操作】



【ポンプ車による排水活動】

6. ソフト対策(情報提供)

■ホームページにて、ライブカメラ映像や川の防災情報の配信、局地的豪雨に備えたXRAINの画像配信、過去の出水状況、浸水想定区域図等を情報提供しています。



<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/index.html>

ホームページ

<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/kasen/index.html>

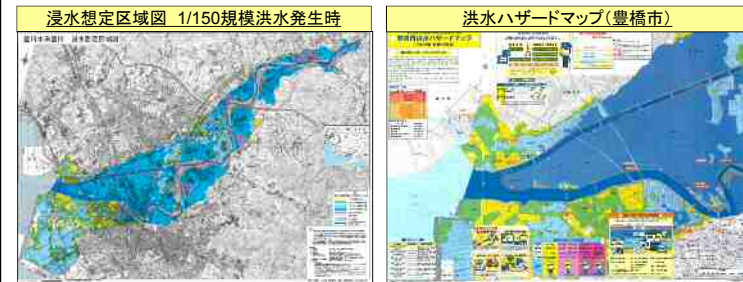
<http://www.river.go.jp/>

<http://www.river.go.jp/xbandradar/>

災害・防災情報の事例

6. ソフト対策(浸水想定区域図・ハザードマップ)

■浸水被害軽減を図るため平成14年2月27日に豊川の浸水想定区域図を公表し、沿川市町村の洪水ハザードマップ作成支援を行いました。



関連市町のハザードマップ公表状況

【豊橋市】:平成14年12月公表

【豊川市】:平成15年1月公表

【新城市】:平成21年8月公表

【旧一宮町】:平成15年1月公表

7. 危機管理(洪水予報)

■洪水被害の防止軽減を図るため、洪水予報連絡会・水防連絡会を実施しているほか、水防警報業務に携わる関係機関と重要水防箇所等の合同巡視を実施しています。



洪水予報連絡会



合同巡視

36

7. 危機管理(災害支援)

■国土交通省では、TEC-FORCEを組織し、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、災害応急対策に対する技術的な支援等を行います。東三河地域では、平成20年8月洪水による広田川の破堤対策で技術支援を行いました。

●中部地方整備局 締め切り対策技術支援チームが、豪雨災害復旧を支援（平成20年8月30日～）

8月30日一時締め切り作業箇所の再破壊（破堤80m）

受知県は自衛隊災害派遣要請（幸田町からの派遣要請依頼）

対応協議(愛知県、幸田町、自衛隊、中部地方整備局)
 <結果>
 愛知 県 破堤箇所の締め切り工事
 自衛 隊 床下浸水家屋の復旧支援
 中部地 整備 技術支援、照明車での支援、内水排除

愛知県からの要請により、8月30日に破壊した広田川の復旧作業の技術支援をするため、中部地方整備局総勢9名が現場で緊急作業

<締め切り対策技術支援チーム(4名)>
 河川部 河川工事課長、課長補佐
 豊橋河川事務所 豊橋課長、支援出張員
 <災害対策車チーム(5名)>

8/31 16:30自治体から排水ポンプ車の追加派遣要請があり、8/1早朝から活動できるよう2台、9名の追加派遣。



豊橋にわたる災害対策地帯による作業状況

物資支援内訳

品名	数量	単価	合計
排水ポンプ車	8,000		8,000
人員	400	200	600
照明車		200	200
ブルーシート	100		100

38

7. 危機管理(平時の訓練)

■水防体制の確立及び市民防災意識の高揚を図ることを目的に、各水防関係機関等が相互に連携し、地域住民の協力を得ながら各種訓練を実施しています。



水防訓練の状況



排水ポンプ車の実演



災害対策本部車の設置



照明車の実演

37

7. 危機管理(災害支援)

■また、ヘリコプターによる被災状況調査、リエゾンの派遣による自治体との連絡及び情報収集、排水ポンプ車などによる災害支援を実施しました。

まんなか号の運航（平成20年8月29日）

岡崎市を中心とした矢作川流域の被災状況調査（愛知県職員2名、河川部職員1名が搭乗）

搭乗職員	
愛知県	笠原河川課 主査
	笠原河川課 主任
中部地方整備局	河川部 地域河川課 課長補佐

災害対策用機械の支援（平成20年8月29日）

・愛知県幸田町より、広田川の破堤被害に対して、排水ポンプ車1台の出動要請
 一 豊橋河川事務所より出動

広田川の運送途端現場での排水ポンプ車出動

3事務所において災害対策車出動

事務所	排水ポンプ車	照明車
中部技術事務所	1台	2台
豊橋河川事務所	1台	1台
浜松河川事務所	1台	1台

・8/31愛知県の追加要請により、2事務所において、排水ポンプ車を9/1に幸田町長堤へ派遣

事務所	排水ポンプ車	照明車
田原河川事務所	2台	0台
本宮川下流河川事務所	2台	0台

排水ポンプ車4台 照明車4台 計8台

愛知県災害対策本部

39